

「高齢者の運転、見守ります」 より長く運転を続けたい貴方自身に より長く運転させてあげたいご家族に

一般社団法人高齢者
安全運転診断センター

一般社団法人高齢者安全運転診断センター…略「高安診」(品川区南大井、吉本堅一理事長、03・5753・0087、<http://kooansin.or.jp>)は、ドライブレコーダーを活用した高齢者向け安全運転診断やデータの収集および分析事業を行っている。

高齢者の自動車運転による事故が問題となっている現在、高齢者にできるだけ長く安全運転を継続してもらうこと、安全運転確保が困難となった場合に自らの意志で免許返納を行うきっかけを与えることが目的である。

自動車事故の原因調査実績を持つ株式会社審調社と東京大学、自動車教習所のサポートで、同センターのシステムは開発された。ドライブレコーダーの活用が特長の診断サービスで、車内外の映像を録画できるため、ドライバーと同乗しているのと同じ状況で診断することが可能である。車にドライブレコーダーを取り付け、運転後にレコーダーを返却すれば、診断書が届く。高齢者の事故事案を基に考案されたチェックシートにより、教習指導経験者や事故映像分析を専門とするスタッフが詳細な分析・診断をし、さまざまなフォローを行うことで継続的な安全運転が可能となる。

「自分の身を守り、人を傷つけず、そして家族を悲しませない運転」の実践に貢献できる同サービスを、高齢で運転を続けている親族がいる方々はもちろん、ドライ

バーの危険な運転癖を見つけために、タクシー会社・運送会社でも導入を検討してみてはいかがでしょうか。超高齢社会における自動車事故の低減と高齢者の元氣な生活の一助となるよう、同センターは日々取組んでいます。



具体的な事故事案に即した「高安診」独自のチェックシート



詳細な分析・診断を行う専門スタッフ